

自動販売機設置

仕様書

【遊亀公園附属動物園】

令和3年6月

目 次

| | |
|----------------------|---|
| 1. 自動販売機の仕様 | 1 |
| (1) 規 格 | 1 |
| (2) 環境対策 | 1 |
| (3) デザイン等 | 1 |
| 2. 販売品目等 | 1 |
| 3. 自動販売機の設置・管理・運営 | 1 |
| (1) 安全対策 | 1 |
| (2) 商品補充・変更・消費期限の確認 | 2 |
| (3) 電気子メーター | 2 |
| (4) 売上金の回収及びつり銭の補充 | 2 |
| (5) 事故・故障時の対応 | 2 |
| (6) 使用済容器の回収 | 2 |
| 4. 費用負担 | 3 |
| (1) 公園使用料 | 3 |
| (2) 売上手数料 | 3 |
| (3) 電気代 | 3 |
| (4) 設置、維持管理及び撤去に係る費用 | 3 |
| 5. 使用上の注意 | 3 |
| 6. 原状回復 | 3 |

自動販売機設置 仕様書〔遊亀公園附属動物園〕

遊亀公園附属動物園への自動販売機設置を希望する事業者（以下「設置事業者」という。）は、以下の点に留意し、入札に参加することとする。

1. 自動販売機の仕様

(1) 規格

| 物件番号 | 幅 (mm) | 奥行き (mm) | 高さ (mm) | 使用可能面積 (㎡) | 備考 |
|------|--------|----------|---------|------------|----|
| 1-1 | 2,000 | 1,000 | 2,000 | 2.00 | |
| 1-2 | 2,000 | 1,000 | 2,000 | 2.00 | |

※ 貸付面積内に自動販売機・転倒防止器具・放熱余地・子メーター設置部分・使用済容器回収ボックス等の全てが収まる大きさとする。

(2) 環境対策

「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（省エネ法）及び「自動販売機設置自主ガイドライン」（日本自動販売協会）を遵守し、部分冷却保温機能、ヒートポンプ機能、ノンフロン対応など消費電力量の低減や環境対策機能を備えた機種とすること。

(3) デザイン等

デザイン、外観色については、設置場所への景観配慮に努めたものとする。

2. 販売品目等

(1) 販売品目

物件番号 1-1：「飲料水、乳製飲料、果汁飲料、コーヒー等の飲料」

物件番号 1-2：「飲料水、乳製飲料、果汁飲料、コーヒー等の飲料にアイスクリームや菓子等の食品を含んだもの」または「アイスクリーム、菓子等の食品」

※ 缶、ペットボトル、紙パック、ビン等の容器とすること。

※ 販売価格は、メーカー希望小売価格以下とすること。

※ 商品の具体的な構成については協議すること。

3. 自動販売機の設置・管理・運営

(1) 安全対策

自動販売機の設置における安全を確保するため、以下のとおり安全対策を講じること。

① 転倒防止のため「自動販売機の据付基準」（JIS規格）を遵守し、耐震対策（転

倒防止策)を施すなど、安全に設置すること。

- ② 販売物品の安全性確保のため「食品添加物等の規格基準」(食品衛生法)、「自動販売機の食品衛生に関する自主的取扱要領」(業界自主基準)等を遵守し、販売商品の衛生管理に万全を尽くすこと。
- ③ 防犯対策のため、硬貨選別装置・紙幣識別装置のプログラム改変により偽造通貨や偽造紙幣の使用による犯罪の防止に万全を尽くすこと。また、「自販機堅牢化基準」(日本自動販売機工業会)を遵守し、防犯対策を講じた機種とすること。

(2) 商品補充・変更・消費期限の確認

設置事業者は、商品の補充及び変更、消費期限の確認を行うこと。また、販売物品を起因とする事故等の発生に対しては、設置事業者の責任において誠実に対応すること。

(3) 電気子メーター

設置事業者は、自動販売機に使用電力計測用の電気子メーター(計量法に基づく検定又は基準適合検査に合格したもので、有効期限内のもの)を設置し、自動販売機に伴う電気料金を負担すること。

なお、電気子メーターの設置に必要となる工事費に要する一切の費用は、設置事業者の負担とする。

(4) 売上金の回収及びつり銭の補充

設置事業者は、売上金の回収及びつり銭の補充を行うこと。

(5) 事故・故障時の対応

設置事業者は、設置する自動販売機に故障発生時の緊急連絡先を明示するとともに、自動販売機の故障、問い合わせ及び苦情については、全て設置事業者の責任において迅速に対応すること。

自動販売機の設置管理運営上の事故等について、設置事業者の責に帰する理由により発生した事故や故障については、設置事業者の責任において処理するものとし、事故や故障の原因及び内容について速やかに施設管理者へ報告すること。

(6) 使用済容器の回収

設置事業者は、使用済容器の回収について以下の点に留意し、自動販売機周辺の美化に務めること。

- ① 原則として自動販売機設置1台につき最低1基の割合で、使用済容器回収ボックスを設置すること。なお、設置に係る費用は、設置事業者の負担とする。
- ② 使用済容器回収ボックスの素材は、樹脂製又は金属製とし、容器の回収頻度や回収量を考慮し、使用済容器の溢れ、周囲に散乱することのないよう、十分な回収容積を確保すること。
- ③ 使用済容器の回収は、設置事業者の責任において適切な頻度で行い、臭気等で不衛生な状態とならないよう細心の注意を払うこと。なお、回収は、開場日のみとし、閉場日における作業は認めない。

- ④ 使用済容器の処理は、容器包装リサイクル法（平成7年法律第112号）などの関係法令に基づき、適切に行うこと。

4. 費用負担

設置事業者は、次のすべての費用を負担するものとする。

(1) 公園使用料

$$\text{設置面積 (m}^2\text{)} \times (3,900\text{円} \times \text{設置月数} / 12) = \text{公園使用料}$$

※毎年度（令和3年度は令和3年7月、令和4年度は令和4年4月）発行する納入通知書による前納とする。既納の公園使用料は返還しないものとする。

(2) 売上手数料

$$\text{毎月の売上実績額 (税込)} \times \text{売上手数料率} = \text{売上手数料}$$

※毎年度（令和3年度は令和3年4月、令和4年度は令和4年7月）発行する納入通知書による一括納付とする。毎月の売上本数及び売上高を記した売上報告書を作成し、1月ごとに提出すること。

(3) 電気代

$$\text{施設全体の電気料金} \times \text{子メーターの使用量の割合} = \text{電気代}$$

※毎年度（令和3年度は令和3年4月、令和4年度は令和4年7月）発行する納入通知書による一括納付とする。電気使用量の算出にあたっては、設置事業者の設置した子メーターにより、年度ごとに1回検針を実施するものとする。

(4) 設置、維持管理及び撤去に係る費用

設置、維持管理及び撤去に係る費用は、設置事業者が負担するものとする。

5. 使用上の注意

使用許可決定以降、許可期間終了までの間は、以下の事項について遵守すること。

- (1) 契約書の条件を遵守し、使用料等の費用を確実に納付すること。
- (2) 使用許可物件への建物の建築や工作物の設置を行わないこと。
- (3) 使用許可物件を第三者に転貸し、又はそれに類似する行為を行わないこと。
- (4) 使用許可物件を第三者に譲渡し、又は他の権利を設定しないこと。

6. 原状回復

設置事業者は、貸付期間が満了、又は許可が取り消された場合は、速やかに原状を回復し、施設管理責任者の確認を受けること。

なお、原状回復に要する費用は、設置事業者の負担とし、設置事業者は、一切の補償を甲府市に対して求めることができない。